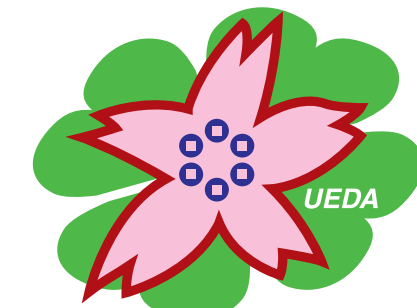




ともに築く上田

日本のほぼまん中にある上田市。晴れわたる青い空に、緑豊かな大自然がひろがるまち。古くから信州の政治と文化の中心として歴史を刻んできたまち。かつて「蚕都」として栄え、そしていま新しい技術を発信し続けるまち。これまで、そしてこれから、ともに紡ぐ明日、ともに築いていく上田。



【上田市章】

背景の四つ葉のクローバーは、旧4市町村の調和した統合を、桜の花は元気で前向きに歩む上田市民の姿を、中央の花心はアレンジされた真田六文銭をイメージし、全体で新生上田市の自然と活気あふれる未来への発展を表現しています。



【位置と地勢】

日本のほぼ中央、長野県の東部に位置する上田市は、日本一の大河・千曲川が市の中央部に流れて、北は上信越高原国立公園に指定されている菅平高原、南は八ヶ岳中信高原国立公園に指定されている美ヶ原高原と2,000m級の山々に囲まれた、緑に溢れた森林・里山と清流に育まれた自然豊かな地域です。東西約31km、南北約37kmの広がりを持ち、面積は552km²。河川沿いに広がる平地や丘陵地帯に市街地および集落が形成され、盆地部分の年間最高気温は35℃前後、最低気温が-10℃前後と、昼夜・冬の寒暑の差が大きく、また晴天率が極めて年間平均降水量が約900mmと全国でも屈指の寡雨地帯です。



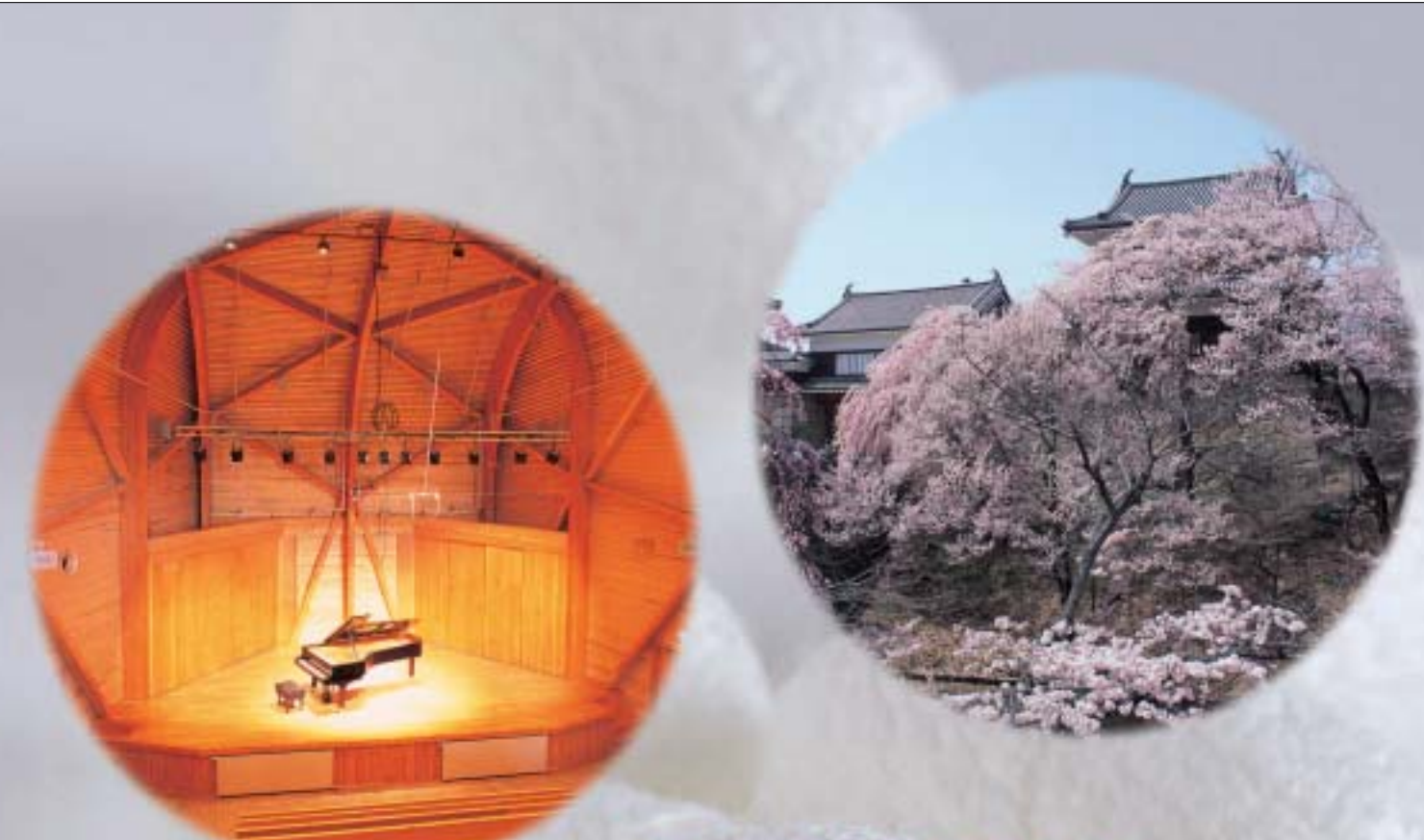
●絵で見る上田市のくらし

出生	死亡	転入	転出
平成17年度・1,434人(住民基本台帳) / 365日 1日に3.9人	平成17年度・1,506人(住民基本台帳) / 365日 1日に4.1人	平成17年度・5,344人(住民基本台帳) / 365日 1日に14.6人	平成17年度・5,363人(住民基本台帳) / 365日 1日に14.7人
家族	結婚	離婚	外国人
平成19年1月1日現在・人口161,625人 / 61,146世帯(住民基本台帳) 1世帯に2.6人	平成18年・955件(上田市への婚姻届出数) / 365日 1日に2.6件	平成18年・322件(上田市への離婚届出数) / 365日 1日に0.9件	平成19年1月1日現在・161,625人(住民基本台帳) / 外国人登録 / 平成19年1月1日現在・6,093人(外国人登録)
有権者	職員	市議会議員	消防団員
平成18年12月1日現在・130,436人(選挙管理委員会資料) / 平成18年12月1日現在・61,125世帯(住民基本台帳)	平成19年1月1日現在・人口161,625人(住民基本台帳) / 平成19年1月1日現在・職員1,441人(総務課資料)	平成19年1月1日現在・人口161,625人(住民基本台帳) / 平成19年1月1日現在・議員数34人	平成19年1月1日現在・人口161,625人(住民基本台帳) / 平成19年1月1日現在・団員2,414人(消防総務課資料)
1世帯に2.1人	112.2人に1人	4,753.7人に1人	67.0人に1人
火災	救急出動	交通事故	自動車
365日 / 平成18年・62件(消防総務課資料) 5.9日に1件	平成18年上田広域管内・7,826件(消防総務課資料) / 365日 1日に21.4件	平成18年人身事故件数・1,085件(生活環境課資料) / 365日 1日に3.0件	平成18年3月31日現在・133,411台(北陸信越運輸局長野運輸支局・長野県自動車協会資料) / 平成18年4月1日現在・60,608世帯(住民基本台帳) 1世帯に2.2台
ごみ	市の歳出(決算額)	市税(決算額)	要介護認定
平成17年度・57,039t(廃棄物対策課資料) / 平成18年4月1日現在・161,461人(住民基本台帳) 1人に0.35t	平成17年度一般会計・590億8,806万円(財政課資料) / 平成18年4月1日現在・161,461人(住民基本台帳) 1人に36.6万円	平成17年度・212億4,536万円(財政課資料) / 平成18年4月1日現在・161,461人(住民基本台帳) 1人に13.2万円	平成19年1月1日現在・人口161,625人(住民基本台帳) / 平成19年1月1日現在・6,908人(高齢者介護課資料) 23.4人に1人

●平成17年度・平成18年の数値は、合併前と合併後の数値を合計したものです。
●資料は、官公署、庁内各課から収集し、資料の出所を各表に表示しています。



ともに紡ぐ明日、ともに築く上田
上田市勢要覧ダイジェスト版
発行日●平成19年3月 発行所●長野県上田市
〒386-8601 長野県上田市大手一丁目11番16号
tel.0268-22-4100(代表) fax.0268-25-4100(代表)
http://www.city.ueda.nagano.jp
編集●上田市総務部秘書課
制作●株式会社ぎょうせい
印刷●田口印刷株式会社



ともに紡ぐ明日、 ともに築く上田

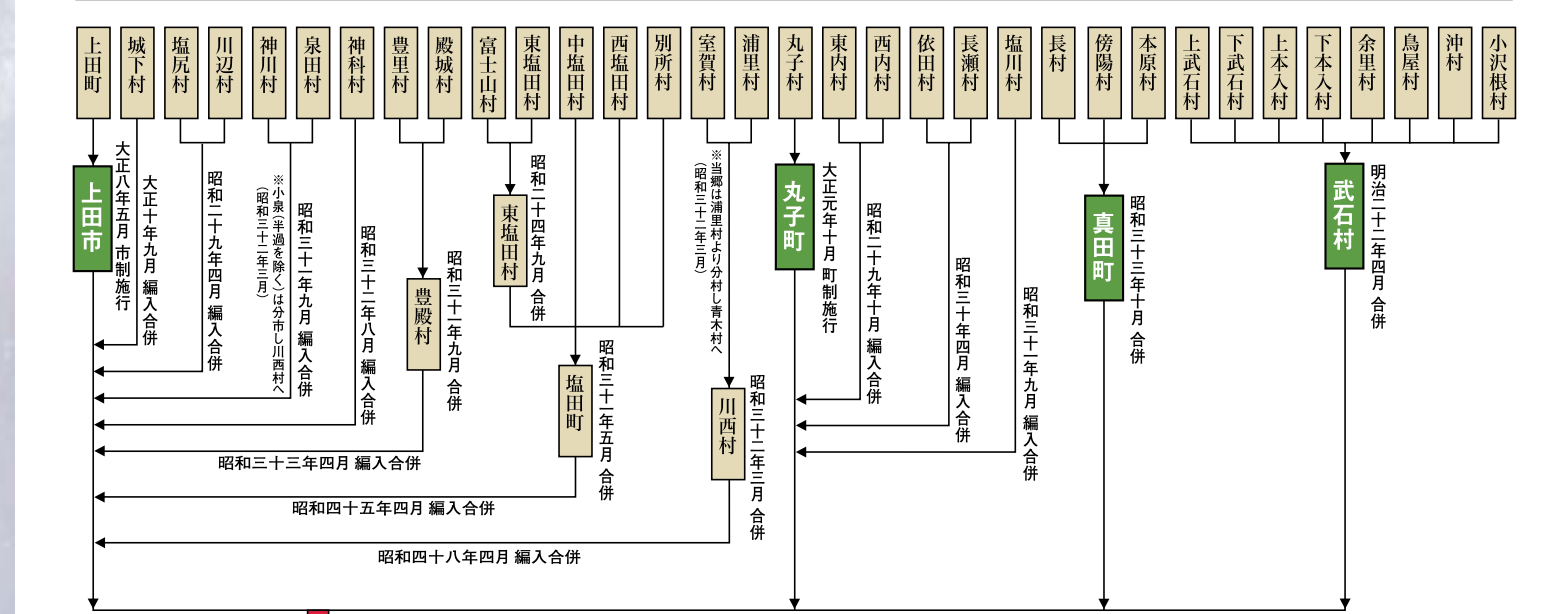
日本のまん中から広がる輝き

上田市勢要覧ダイジェスト版



ともに紡ぐ明日、

【市町村合併系図】



平成18年3月6日、4市町村が合併して
新生「上田市」誕生

以前から歴史のつながりの深い上田・丸子・真田・武石の旧4市町村の新設合併により、人口16万4000人の新生上田市が誕生。地域の個性を生かすまちづくりの推進と、16万新市民の英知を結集した独自の発展が期待されています。



合併協定調印式(平成17年2月18日)



開市式(平成18年3月6日)



新生「上田市」発足記念式典(平成18年8月19日)

上田市データファイル
UEDA Data File
県内順位は、合併後の81市町村での順位
学校基本調査以外の数値は、旧4市町村の単純合計

総面積
552 km² 県内順位 6位

人口
163,651人 県内順位 3位
平成17年10月1日現在(国勢調査)

世帯数
59,858世帯 県内順位 3位
平成17年10月1日現在(国勢調査)

農業就業人口
5,776人 県内順位 5位
平成17年2月1日現在(農林業センサス)

農業産出額
96億円 県内順位 7位
平成17年現在(生産農業所得統計)

製造業従業者数
19,408人 県内順位 2位
平成16年度工業統計

製造品出荷額等
5,925億円 県内順位 2位
平成16年度工業統計

商業従業者数
14,134人 県内順位 3位
平成16年度商業統計

年間商品販売額
4,224億円 県内順位 3位
平成16年度商業統計

小学校児童数
9,608人 県内順位 3位
平成18年5月1日現在(学校基本調査)

中学校生徒数
5,015人 県内順位 3位
平成18年5月1日現在(学校基本調査)

上田市データランキング①
気象データ
参考:気象庁・気象業務支援センター
1971~2000年の年平均値、551地点

日照時間の長さ
1,993.5時間 37位

降水量の少なさ
864.8mm 5位



上田市データランキング②
住みよさランキング
東洋経済新報社・都市データバンク2006年版
全国780都市

住みよさの総合評価 198位
(1位・福岡県福岡市、24位・駒ヶ根市)

①安心度 248位
④富裕度 357位

②利便度 151位
③快適度 297位

⑤住居水準充実度 463位

上田市データランキング③
財政健全度ランキング
東洋経済新報社・都市データバンク2006年版
全国780都市

総合評価 473位
(1位・愛知県刈谷市、187位・諏訪市)

上田市データランキング④
財政全国ランキング
日本経済新聞社・全国都市財政年報(2005年度決算)
777都市

実質収支比率 8.21% 88位
(1位・岐阜県海津市、58位・諏訪市)

自主財源比率 54.47% 274位
(1位・愛知県刈谷市、109位・諏訪市)

人件費比率 17.66% 145位
(1位・兵庫県淡路市、13位・飯山市)

起債制限比率 11.1% 386位
(1位・静岡県御前崎市、35位・小諸市)

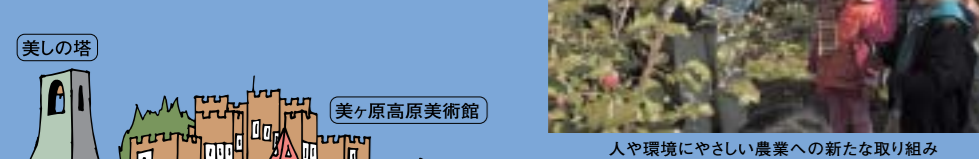
財政力指数 0.606 407位
(1位・愛知県碧南市、191位・諏訪市)

上田市データランキング⑤
市役所の情報化
日経BP社・日経パソコンe-都市ランキング
2006年度調査、1613自治体

情報化進展度 9位
(1位・兵庫県西宮市、10位・茅野市)

I Love UEDA 1 豊かな土壌が生み出す作物

豊富な日照量に恵まれ、全国でも有数の寡雨地帯の上田市は、その独特の気候と肥沃な土壌から、多くの農作物の産地となっています。北部の菅平高原ではレタスなどみずみずしい高原野菜の栽培が盛んです。また人や環境にやさしい農業への関心が高く、その取り組みも活発で、地産地消の先進地としても知られています。



人や環境にやさしい農業への新たな取り組み



I Love UEDA 2 蚕都からものづくりのまちへ

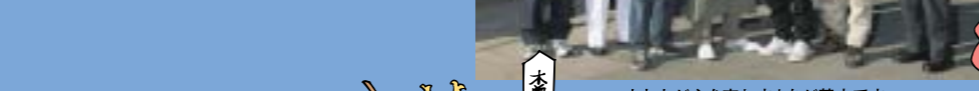
上田市はかつて「蚕都」と呼ばれ、江戸時代の末期から昭和にかけて、蚕糸業の興隆による繁栄を極めました。そして高品質の製品を広く海外に輸出し、近代日本の産業振興に大きく貢献してきました。蚕都を築いたエネルギーは、現代の工業にも脈々と受け継がれ、平成16年度の工業統計では製造品出荷額が5,925億円と、県内屈指の工業集積地として地域経済をリードしています。



蚕の都として繁栄を誇った当時の面影を偲ぶことができます

I Love UEDA 3 温かく笑顔をおもてなす商い

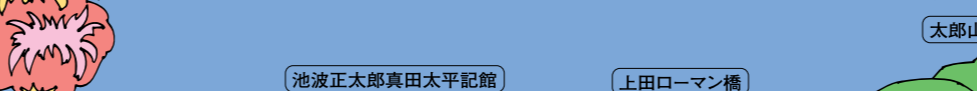
古くから街道筋として栄え、現在も長野新幹線や上信越自動車道など高速交通網の要所として、県東部の中核的商都の機能を担う上田市。中心市街地には今なお、前年に城下町の名残をとどめる商店街が連なり、個性で魅力ある専門店づくりに努めています。一方、商業活動の中核を担う上田駅周辺市街地は再開発により、上田の新しい顔となりました。



人と人が心を交わすまちが基本です

I Love UEDA 4 故郷の魅力を多くの人へ

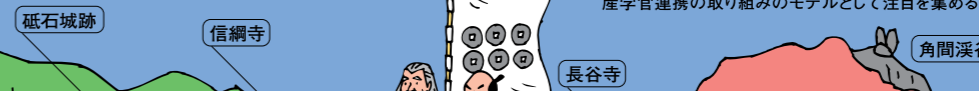
信州の鎌倉・塩田平や真田氏ゆかりの上田城跡などの歴史ロマン漂う史跡の数々、美ヶ原高原や菅平高原に代表される雄大な自然、情緒ある温泉など、上田市は個性が際立つ観光資源に恵まれ、年間400万人の観光客を迎えています。また、「稲倉の棚田」保存や余里の花桃「花咲か爺さん活動」、「ホットステイ」などの市民による地域づくり活動の輪が、上田観光の新しい魅力を発信しています。



人々の温かいおもてなしが、上田の新しい魅力を発信

I Love UEDA 5 新たな知恵とパワーを担って

産学官連携の先駆者として注目を集める上田市は、4つの大学・短大などに約5,000人が集う学生のまち。平成14年、信州大学繊維学部構内に上田市産学官連携支援施設を設置し、地域企業と大学が共同研究により、新製品や技術開発を進めるなど、地域産業を活性化するための取り組みを進めています。また、各大学による地域活動も積極的に展開され、まちづくりの大きな力になっています。



産学官連携の取り組みのモデルとして注目を集める上田

I Love UEDA 6 映画のワンシーンへ

信州上田は「屋根のないスタジオ」とも呼ばれ、大正時代から多くの日本映画のロケ地となってきました。「青い山脈」「男はつらいよ」「たががれ清兵衛」や、近年では「犬神家の一族」など、これまで70本近くの映画が撮影され、上田地域の景勝地や名所がスクリーンに登場しています。上田市では平成13年に「信州上田フィルムコミッション」を設立。撮影へのさまざまなサポートを遂行し、現在では年間100件余りの映画やTVドラマの撮影が行われています。



上田は大正時代後半より、数々の映画の舞台になってきました



- 日本百名山 四阿山 (新編文庫「日本百名山」著書・深田久弥、1964年)
- 日本百名山 美ヶ原 (新編文庫「日本百名山」著書・深田久弥、1964年)
- 森林浴の森100選 角間渓谷 (林野庁・緑の文明学会・地球環境財団、1986年)
- 新日本観光地100選 美ヶ原高原 (読売新聞、1967年)
- 日本の棚田百選 稲倉の棚田 (「日本の棚田百選」選定委員会・農林水産省、1999年)
- 遊歩百選 塩田平 (遊歩百選選考委員会・読売新聞大阪支社、2002年)
- 日本百名湯 別所温泉 (日本経済新聞、2002年)
- わたしの旅100選 上田 (文化庁、2005年)
- 日本100名城 上田城 (財団法人日本城郭協会、2006年)
- 日本の歴史公園100選 上田城跡公園 (社団法人日本公園緑地協会、2006年)
- 美しい日本の歴史的風土 準100選 塩田平 (「美しい日本の歴史的風土100選」実行委員会、2007年)



著者が日本の多数の山に登り、品格・歴史・個性を兼ね備え、例外を除いて標高1,500m以上の山という基準で選定しました。四阿山(右・2,354m)は、花の百名山・根子岳(左・2,207m)と並び菅平高原のシンボルといえる山です。

四阿山が上信越高原国立公園にあるのに対し、ハケ岳中信高原国立公園にあるのが美ヶ原です。最高峰は王ヶ頭(2,034m)。ほかに王ヶ鼻(2,008m)、茶臼山(2,006m)、牛伏山(1,990m)、武石峰(1,973m)などが連なります。

日本の森林を21世紀に引き継ぎ、自然保護の精神を養い、健康増進に役立てることを目的に、全国各地から100カ所の森を選定したのが森林浴の森100選です。角間渓谷は、断崖絶壁に紅葉が燃え立つ県下有数の景勝地です。

新しい余暇時代にマッチした魅力ある観光地の選出を目的に昭和62年、読者の人気投票で選定されました。富士山やハケ岳、北アルプスが360度のパノラマで楽しめる美ヶ原高原は、大自然に芸術が溶け込む観光地です。

農業収入や兼業のみでの維持が難しい棚田を、観光地にすることを目的に選定されました。全国で134地区の棚田が選ばれています。稲倉の棚田は標高差200mにも及び、元禄時代に開墾された田圃が美しい景観をつくっています。

大阪読売新聞発刊50年の記念事業として、全国の市町村から推薦を受けたコースから、一般投票などを得て選考されました。百選に選ばれた塩田平は、のどかな田園風景と鎌倉・室町時代の神社仏閣を巡るコースです。

日本百名湯は平成12年4月から2年間、日本経済新聞に連載されていた企画の名称で、そこで選定された温泉のことです。別所温泉は、七久里の湯とも称される信州でも古い温泉の一つで、肌がなめらかになる美人の湯とも呼ばれています。

日本の歴史や文化を、旅を通して理解できるように、文化庁が旅のプランを募集し、選定したのがこの100選です。選定されたプランの一部には、上田城や塩田平を巡り別所温泉に宿泊するコースが含まれています。

歴史や建築の専門家などにより、観光地としての知名度や歴史上の重要性、復元の正確性などを基準に審査の上選定し、平成18年2月13日に発表されました。上田城は、真田昌幸によって天正11年(1583)に築城されたお城です。

歴史的資源を保存・活用し、観光振興、地域振興の拠点となる公園が全国から112カ所選ばれています。春には上田城千本桜まつりで賑わう上田城跡公園も、魅力ある歴史公園の一つに選ばれました。

古都保存法施行40周年を記念し、将来に受け継いでいきたい美しい歴史的風土を形成している地域が選定されました。塩田平は、独鈷山などの山々や田園地帯が、数多くの歴史的文化的遺産と一体となっている点が評価されました。

姉妹都市・友好都市・災害時応援協定都市

- 国外●友好都市
アメリカ合衆国コロラド州ブルームフィールド市都
- 国外●友好交流関係都市
中華人民共和國浙江省寧波市(ニンボー市)
- 国外●姉妹都市
スイス連邦ダゴス町
- 国内●姉妹都市・災害時応援協定都市
神奈川県鎌倉市、新潟県上越市、兵庫県豊岡市、和歌山県伊都郡九度山町
- 国内●友好都市・災害時応援協定都市
東京都練馬区
- 国内●災害時応援協定都市
埼玉県上尾市、静岡県沼津市